アルミ棚

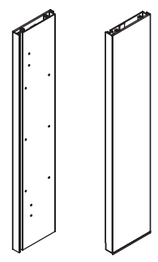
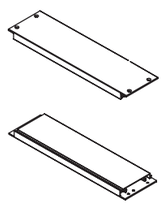
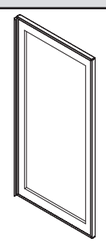
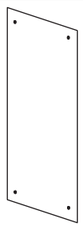
cosme-cabi 取扱説明書 H600×W300 ／ 450 miratap

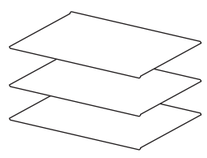
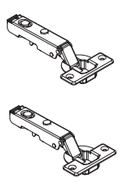
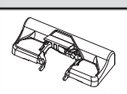
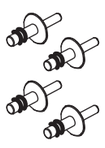
このたびはアルミキャビネットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
商品を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みください。

⚠ご注意

- この商品は屋内専用です。
- 仕様説明書の表示内容にもとずき、安全には充分留意して設計・製作しておりますが表示内容と異なる使用や改造は、破損や落下事故につながりますので絶対におやめください。特に製品の機能を充分に引き出し安全にご使用いただくために耐荷重・取付位置・取付方法・金具使用数などをご確認の上お守りください。
- 性能・品質向上のため仕様・寸法・材質などを予告なく変更する場合がありますのでご容赦ください。
- アルミ切断部で指を切るなど、思わぬケガをする恐れがございますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

■梱包内容

アルミ側板（左右あり）	アルミ天板、地板（共通）	扉（アクリル/ポリカ/ミラー）	背板（表裏無。保護シート付）
 2本	 天板 地板 L＝300/450 2本	 H600×W298/448 1枚	 H592×W292/442 1枚

ガラス棚板（3枚）	スライドヒンジ	ベースプレート	ヒンジ用ダンパー	棚ダボ	キャビネット組立ビス	壁固定用ビス
 W268/418×D82.5×T4 3枚	 2個	 2個	 1個	 12個	 皿T.P4X30 8本	 JB-AW 4X36 4本
			ヒンジ取付ビス		キャップ	アンカー
			皿T・P4X10 8本		 4本	4本

■完成寸法図

■使用工具

■仕様

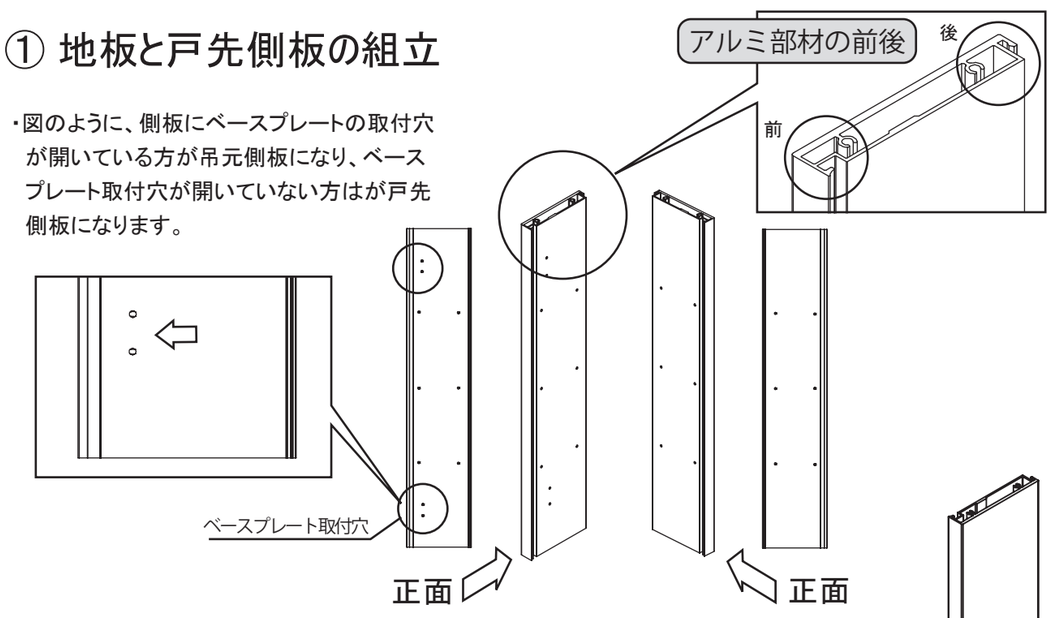
製品重量	ｱｸﾘﾙ / ﾎﾟﾘｶ / ﾐﾗｰ W=300…5.5kg 6.5kg W=450…7.0kg 8.5kg
耐荷重	10kg 以下
棚板耐荷重	1kg 以下

組立説明

※ キャビネット組立後、上下の区別はありません。

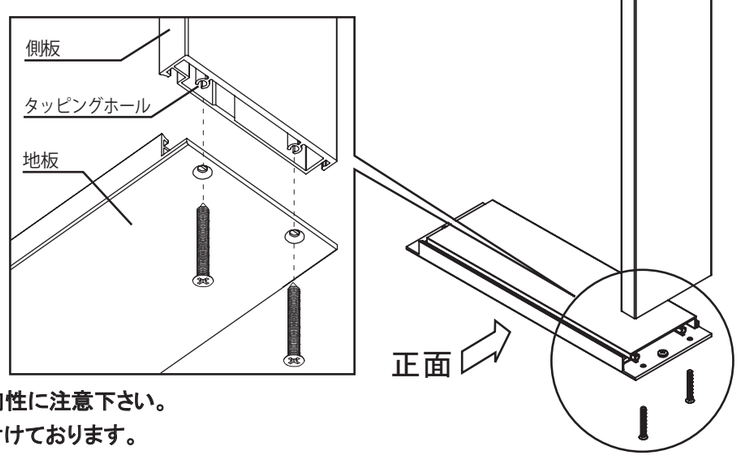
① 地板と戸先側板の組立

・図のように、側板にベースプレートの取付穴が開いている方が吊元側板になり、ベースプレート取付穴が開いていない方はが戸先側板になります。



・図のように、アルミの端部を合わせ下部よりビス（皿T.P4X30）にて、2箇所固定します。

ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。



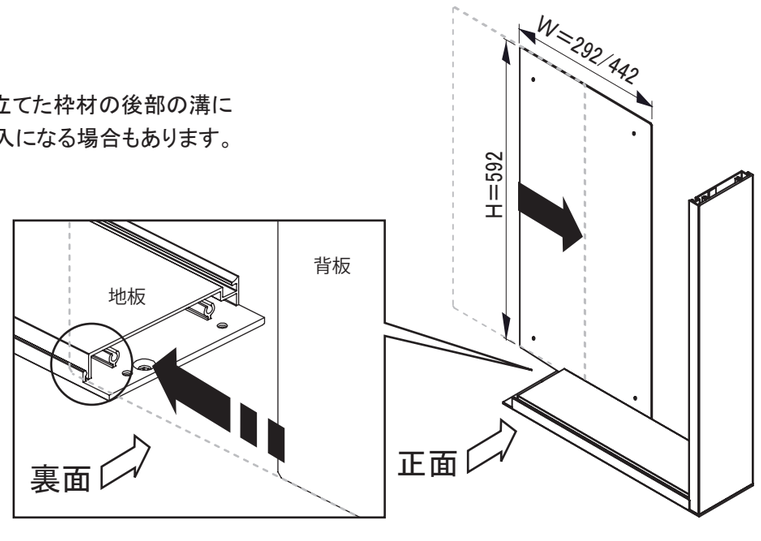
（注意） アルミ部材の前後の方向性に注意下さい。
図は右の側板から取り付けております。

② 背板の組立

・図のように、背板を①で組み立てた枠材の後部の溝に挿入します。溝へは、多少圧入になる場合もあります。溝の奥まで挿入願います。

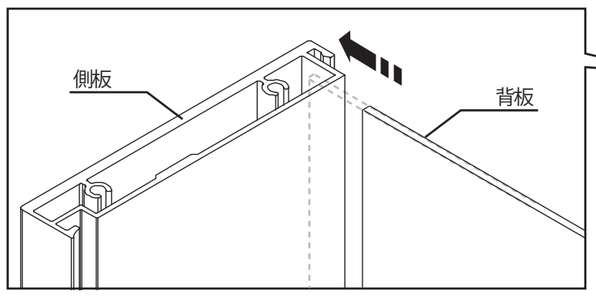
（注意） 組立ての前に、保護シートをはがして下さい。（※両面にあります）

（注意） 背板の挿入がきつい場合は、当て木を当て、プラスチックハンマー等で挿入して下さい。



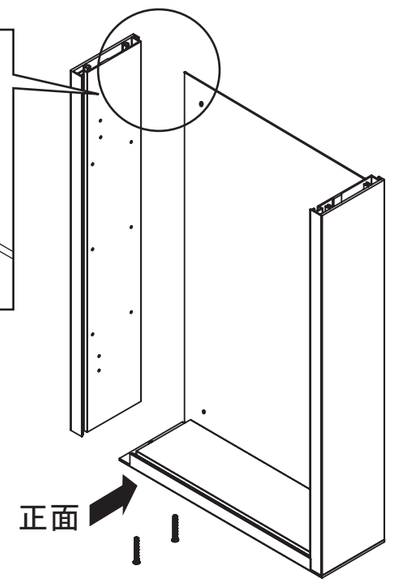
③ 吊り元側板の組立

・吊り元側板を組立てます。



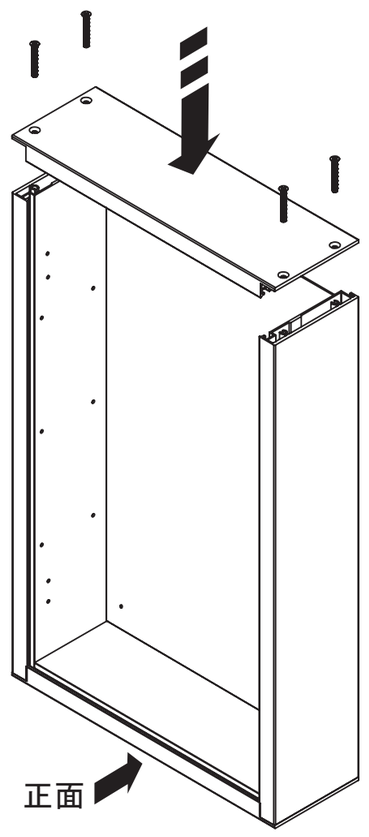
・図のように、アルミの地板に側板の端部及び背板を合わせて、下部よりビス（皿T.P4X30)にて、2箇所固定します。
ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。

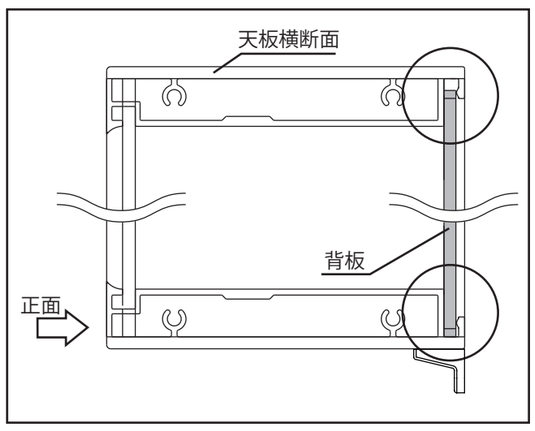
（注意）背板の挿入がきつい場合は、当て木を当て、プラスチックハンマー等で挿入して下さい。



④ 天板の組立

・図のように、アルミの両端部を合わせて、上部よりビス（皿T.P4X30）にて、4箇所固定します。
ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。





（注意）組立ビスがしっかりネジ込まれているか確認して下さい。

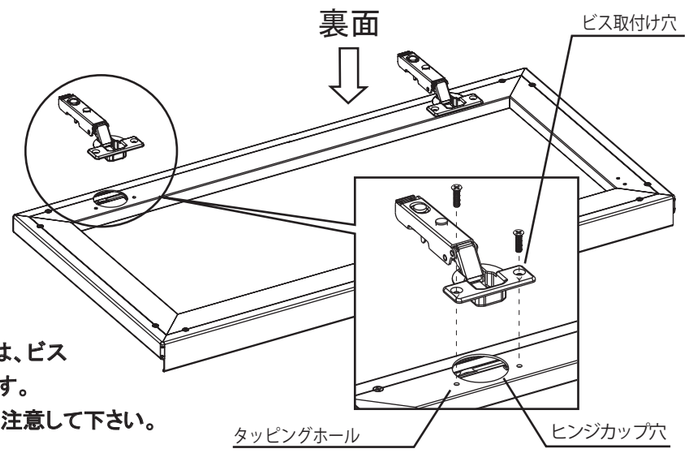
スライドヒンジの取り付け説明

① スライドヒンジの取り付け

・図のように、スライドヒンジを扉のヒンジカップ穴に合わせます。
・スライドヒンジのビス取付け穴をタッピングホールに合わせ、上部からビス（皿T.P4×10）にて、1つのスライドヒンジに2か所ずつ固定します。

（注意）本工程は
手回しドライバーをご使用下さい。

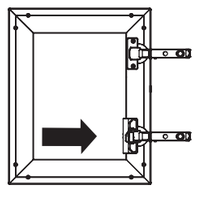
（注意） ビス取付用のタッピングホールは、ビスの径より小さい穴になっております。
ビスが穴に対して垂直になるよう注意して下さい。



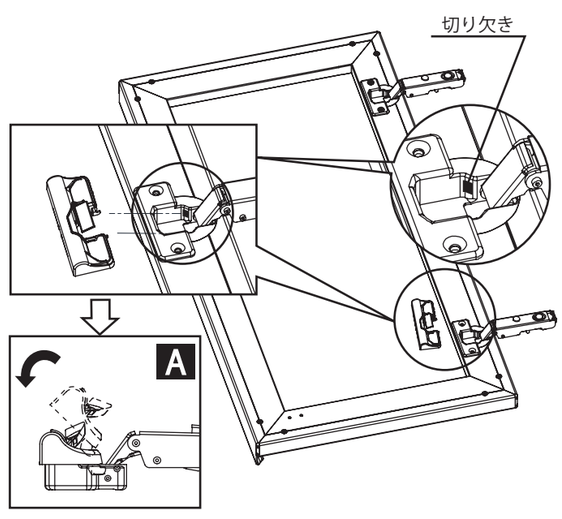
② ヒンジ用ダンパーの取り付け

・図のように、ヒンジ用ダンパーを①で組み立てたスライドヒンジのカップの凹み部分の切り欠きに挿入します。切り欠きへは、多少圧入になっており、Aの動作でカチっと音がするまで挿入して下さい。

（注意） ヒンジ用ダンパーは扉の下側のスライドヒンジに取り付けて下さい。



（左開の時）

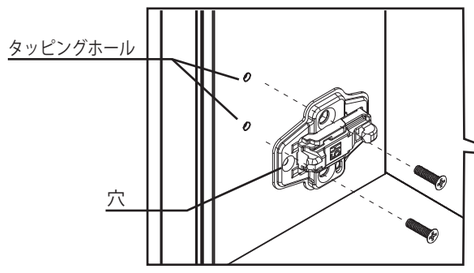


③ ベースプレートの取り付け

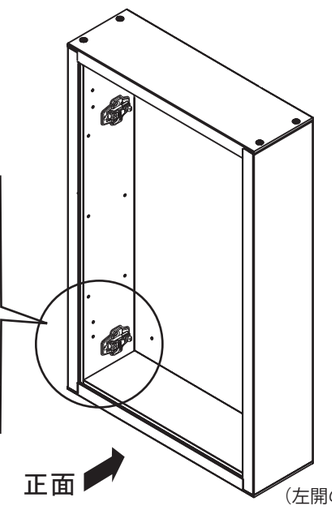
・図のように、ベースプレートをキャビネットの吊り元側板に、取り付けビス（皿T.P4X10)にて、1個のベースプレートに2箇所ずつ固定します。
ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。

（注意）本工程は
手回しドライバーをご使用下さい。

（注意） ベースプレートの向きに注意して下さい。（ベースプレートの穴のある方が前です。）



（注意） ビス取付用のタッピングホールは、ビスの径より小さい穴になっております。ビスが穴に対して垂直になるよう注意して下さい。



（左開の時）

壁面取り付け説明

○ 扉の左開・右開を決めて下さい。ベースプレートの付いている側が吊り元になります。（下図は左開です）

① キャビネットの取り付け

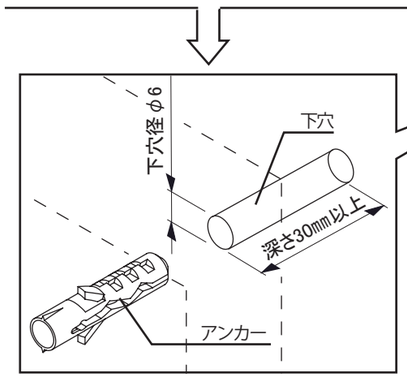
・キャビネットの外枠より、44㎜内側の壁に芯材があることを確認します。

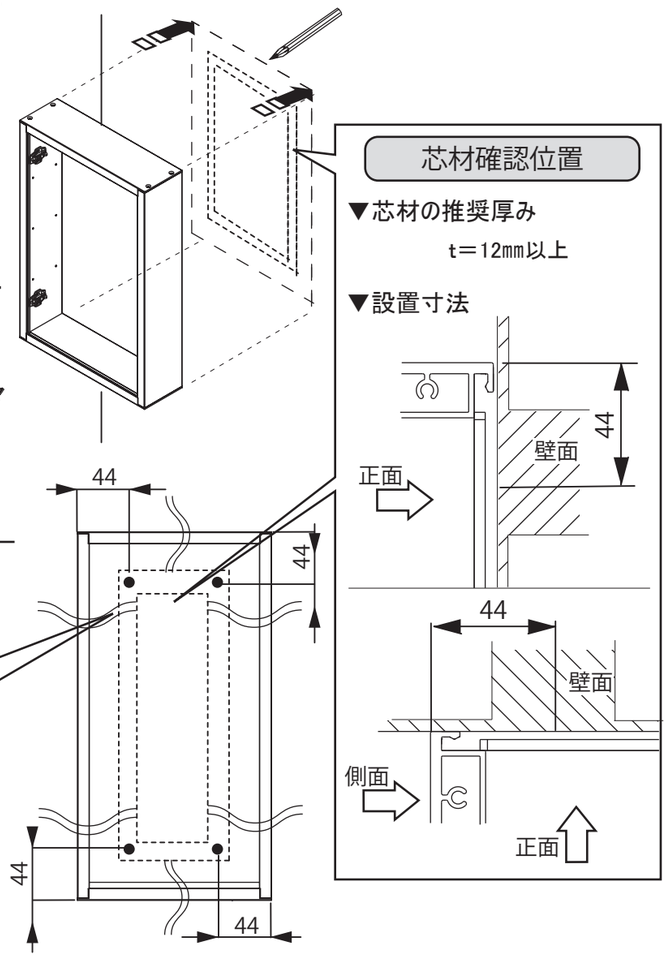
・図のように、キャビネットを水平にし、壁に、取り付け位置を鉛筆でけがきます。

（注意）キャビネットを取り付ける際は、扉の向きに注意して下さい。ベースプレートが付いている側が吊元側になります。

（注意）芯材のない場所に取り付けると、キャビネットが落下する恐れがありますので、ご注意下さい。

（注意）壁がコンクリートの場合には、壁にアンカーを打ち込み、固定して下さい。





芯材確認位置

▼芯材の推奨厚み

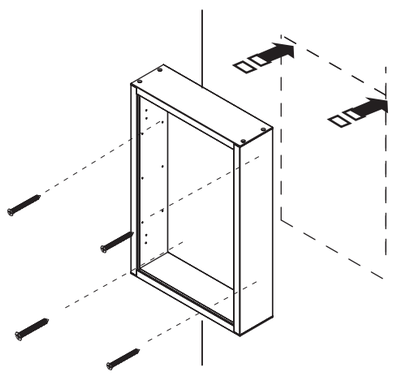
t＝12㎜以上

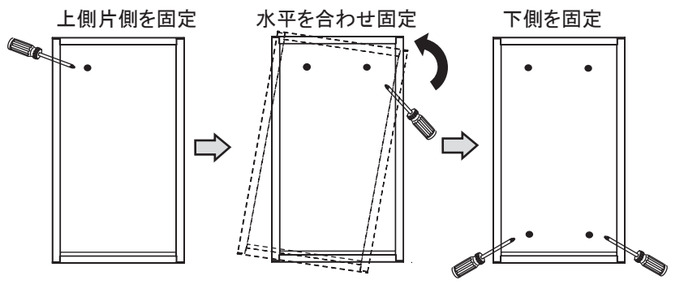
▼設置寸法

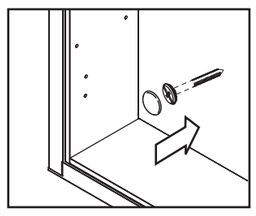
・キャビネットをけがいた線に合わせ、壁固定用ビス（JB-AW 4×36）にて、4箇所固定します。

（注意）キャビネットの水平に注意して下さい。

取り付け手順







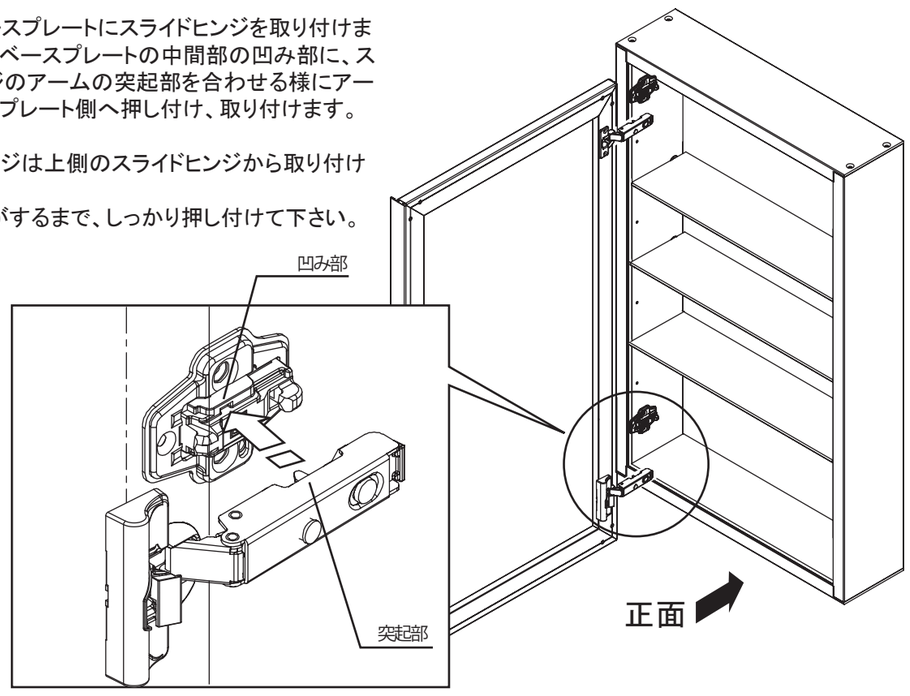
・壁固定ビスの頭にキャップを被せます。

② 棚板・扉の取り付け

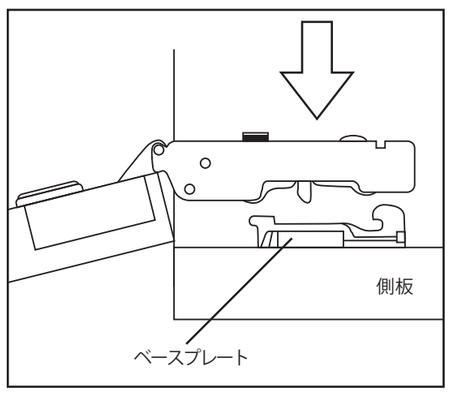
・棚ダボを、取り付けたい棚位置の側板に挿入して下さい。1枚に付き、4箇所取り付け、棚ダボの上に棚板を載せます。

・側板のベースプレートにスライドヒンジを取り付けます。側板のベースプレートの中間部の凹み部に、スライドヒンジのアームの突起部を合わせる様にアームをベースプレート側へ押し付け、取り付けます。

・スライドヒンジは上側のスライドヒンジから取り付けて下さい。
・カチッと音がするまで、しっかり押し付けて下さい。



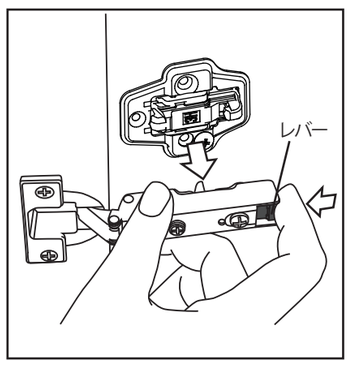
※ 工具は不要です。



・扉を一度静かに開閉し、スムーズに開閉が出来るか確認をして下さい。

（注意）扉がしっかり取り付いていないと、扉が落下する恐れがありますので、ご注意下さい。

・外す時はレバー部分を指で押します。



スライドヒンジ調整説明

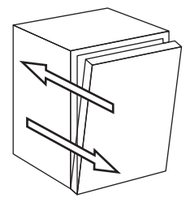
① スライドヒンジの調整

・図のように、扉が正しい位置にない場合はスライドヒンジまたは、ベースプレートにて調整します。

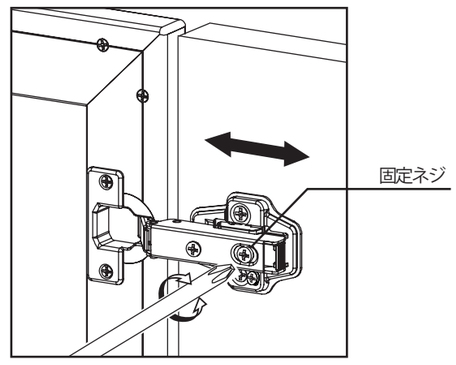
（注意）本工程は手回しドライバーをご使用下さい。

前後調整

・ 固定ネジをゆるめて前後調整した後、締め直して下さい。

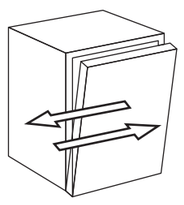


（アジャスト量）
前方向 = 2㎜
後方向 = 2㎜

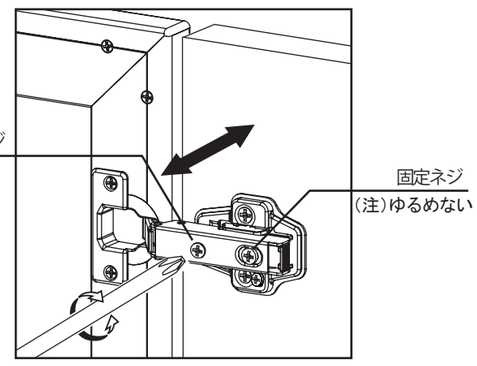


左右調整

・ 固定ネジを締めたままで、左右調整ネジを回して左右調整して下さい。

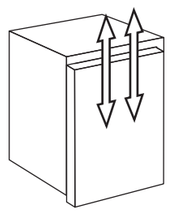


（アジャスト量）
左方向 = 2㎜
右方向 = 2㎜

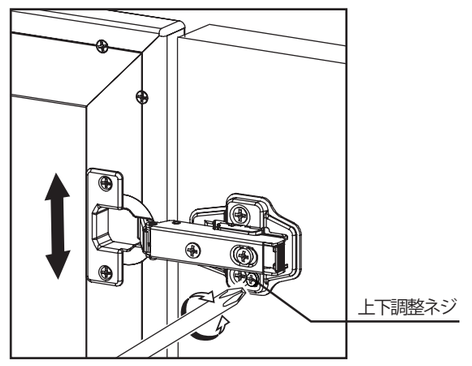


上下調整

・ ベースプレート側の上下調整ネジをゆるめて上下調整した後、締め直して下さい。



（アジャスト量）
上方向 = 1.5㎜
下方向 = 1.5㎜



（注意）この調整は2箇所同時に行って下さい。

確認	取り付け後、全体にガタツキがないかご確認願います。ガタツキがあるようでしたら、再度ビスの締め付けをお願い致します。

miratap

株式会社 ミラタップ　**miratap inc.**

●お客様相談センター　受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
https://www.miratap.co.jp
TEL: 0120-468-838　FAX:0120-382-096